

施策体系

基本方針	3	教育の健幸	施策名	11	生涯スポーツの推進
------	---	-------	-----	----	-----------

施策統括部	教育部	関係課	無し
施策主管課	生涯学習課		

1 施策の評価指標

成果指標		単位
A	総合型地域スポーツクラブ会員数	人
B	体育施設の延べ利用者数	人
C		
D		

2 指標等の推移

成果指標	R4年度実績値	数値区分	6年度	7年度	8年度	9年度	評価	背景として考えられること	
A	人	1,169	目標値	1,250	1,300	1,350	1,400	△	パンフレットやホームページによる周知啓発に加え、様々な内容の体験教室等の実施や教室の増加、内容の充実など取り組んできた成果ととらえています。
			実績値	1,244					
B	人	3,465,467	目標値	3,600,000	3,800,000	4,200,000	4,500,000	△	総合運動公園の廃止による体育施設の減少、及びそれに伴う近隣市町の施設への流出等が要因と考えられます。今後、恵楓園グラウンドの整備に加え、予約システムの導入等、市民の利便性向上を図りながら、利用者数の増加を目指します。
			実績値	3,560,634					
C			目標値						
			実績値						
D			目標値						
			実績値						

※【評価】 ○；目標達成 △；目標をほぼ達成（-5%） ×；目標を未達成

事務事業数・コスト			6年度	7年度	8年度	9年度
事務事業数		本数	6			
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0		
		都道府県支出金	千円	0		
		地方債	千円	8,900		
		繰入金	千円	0		
		その他	千円	159,505		
		一般財源	千円	65,132		
事業費計		千円	233,537			

3 施策の現状・住民意見等

①施策の現状（第1期基本計画策定当初）と今後の状況変化

- スポーツをしない理由として「時間がない」などがあげられていますが、健康への関心は高まっています。
- 市が主催するスポーツイベントにおける参加者の推移は、減少あるいは横ばいの傾向が見られます。
- スポーツ施設の数や利用時間帯などにより、希望どおりの利用ができない場合もあります。
- 中学校部活動の地域展開の検討が求められています。
- 総合運動公園の廃止に伴う、スポーツ施設の代替地確保のため、恵楓園グラウンドの整備に向けた測量設計業務委託を行いました。
- 総合運動公園の廃止に伴う、スポーツ施設の夜間利用における代替地確保のため、合志中学校グラウンドナイター照明設備整備に向けた設計業務委託を行いました。

②この施策に対して住民（対象者、納税者、関係者）、議会からどんな意見や要望が寄せられているか？

(令和6年度(令和5年度振り返り)の施策評価における議会意見)

- 「クラブこうし」等を活用し、中学校部活動の社会体育移行の動きと連携すること。
- スポーツイベントの開催も大事だが、ラジオ体操など小グループ、隣近所、個人など、毎日できる軽スポーツの推進にも目を向けていただきたい。
- 主催スポーツイベントの周知方法、申し込み方法、申込期間などわかりやすく発信すること。
- 生涯スポーツ指導員の巡回指導等を実施し、地域の生涯スポーツ推進を図ること。

(令和6年度(令和5年度振り返り)の施策評価における総合政策審議会意見)

- 市の体育館が利用しやすい施設になるように環境整備を行うこと。
- 指導者の確保や人材育成、制度の周知を行い、将来にわたりスポーツの活性化に努めること。

4 施策の評価

①施策の振り返り（経営方針の達成度等）

令和6年度経営方針からの振り返りは以下のとおりです。

- ①【市が主催するスポーツイベントの内容充実を図るとともに、市民に分かりやすい情報発信に努めます。】については、スポーツ推進委員と協働し内容充実に向けて協議を重ね4回のスポーツイベントを実施しました。また、市広報誌やホームページでイベントを周知・啓発し、前年度比+254人の参加者を動員しました(令和5年度計988人、令和6年度計1,242人)。
- ②【中学校部活動の地域スポーツ移行について、検討委員会において市民のニーズに即した内容となるよう、協議を重ねます。】については、保護者や生徒・指導者等へのアンケート調査の実施や、検討委員会を立ち上げ委員会を3回開催するなど、持続可能な中学校部活動のあり方や地域社会との役割分担、指導者確保のための必要な事項について関係者等と協議を行い、「学校と街の部活動」を目指す方向性を決定しました。
- ③【スポーツ推進委員や生涯スポーツ団体との連携、活用を図りながら生涯スポーツ指導者の確保や育成に努めます。】については、スポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブ・スポーツ協会各種目団体と連携を図り、研修への参加や情報提供を行いました。また、スポーツ推進委員については、ホームページへの募集記事掲載や関係機関への説明等により、指導者確保に努めました。
- ④【安全安心なスポーツ施設の再編も含め、利用しやすい環境整備に努めます。】については、公共施設等総合管理計画に基づいた修繕・工事を行いました。また、突発的な修理等についても、できるだけ迅速に対応し市民の利用しやすい環境整備を行いました。

②施策の課題（令和6年度の施策の振り返りから見る課題）

- スポーツを始める機会の提供が必要です。
- スポーツに親しむための幅広い環境整備が必要です。（談話スペースや託児スペースなど）
- 市民のニーズをとらえた魅力的なイベントの開催が必要です。
- スポーツ実施率などを数値化するなどの見える化が必要です。
- 地域スポーツの振興を図るため、地域課題に関する情報収集とその共有が必要です。
- 安全安心に使用できる効率的かつ計画的な施設整備の推進が必要です。
- 中学校部活動の地域展開に伴い、指導者等の人材確保が必要です。
- 施設オンライン予約システムの導入に伴い、市内小中学校の学校開放による社会教育施設としての予約もオンライン予約が可能となるため、学校側との協議が必要です。

5 施策の令和6年度結果に対する審査結果

①政策推進本部での指摘事項（施策目標達成度評価結果報告を受けて令和7年7月23日）

- 中学校部活動の地域展開に向けた環境整備を行うとともに、生涯スポーツ指導者の発掘及び育成・人材確保を図ること。
- 社会体育施設についてオンライン申請の導入を進め、市民の利便性向上に努めること。
- 社会体育施設の老朽化に伴う安全性や品質を保つために、計画的な維持補修や更新に取り組むこと。
- 市が主催するスポーツイベントの内容充実を図るとともに、市民に分かりやすい情報発信に努めること。

②総合政策審議会での指摘事項（令和7年7月31日、8月6日のまとめ）

- スポーツを通じた交流を行い、スポーツの普及促進を図ること。
- 誰もが気軽にスポーツができる環境を整備すること。

③議会の行政評価における指摘事項（令和7年9月1日）

- 年齢に関係なく、身近で楽しめるメニューを用意すること。
- 総合運動公園で廃止される施設について、代替施設を確実に整備すること。
- 企業に理念を説明しアルビレックス新潟のような、中学校から社会人までの地域スポーツクラブを設立し、市民に運動の機会を提供すること。

6 次年度に向けた取り組み方針

○政策推進本部 令和8年度合志市経営方針（令和7年10月10日）

- ①市が主催するスポーツイベントの更なる充実を図るとともに、より多くの市民に参加していただけるようわかりやすい情報発信に努めます。
- ②社会体育施設の利用申請手続き及び施設の老朽化、また総合運動公園の廃止に伴う再編について、市民の利便性を損なわないよう計画的な整備に努めます。
- ③中学校部活動地域展開について、地域指導者の確保や人材育成、また施設の環境整備を行いながら段階的移行に取り組めます。
- ④市民に運動の機会を提供するため、スポーツを通じた交流促進に努めるとともに、企業や団体と連携した取り組みを進めます。